

14 寺尾第二地区

1. 地区概況

鶴見区の西部に位置し、港北区と神奈川区に隣接する坂の多い地域です。駅までの交通手段はバスが主流で、鶴見駅以外に菊名駅、綱島駅、新横浜駅などに行くこともできます。

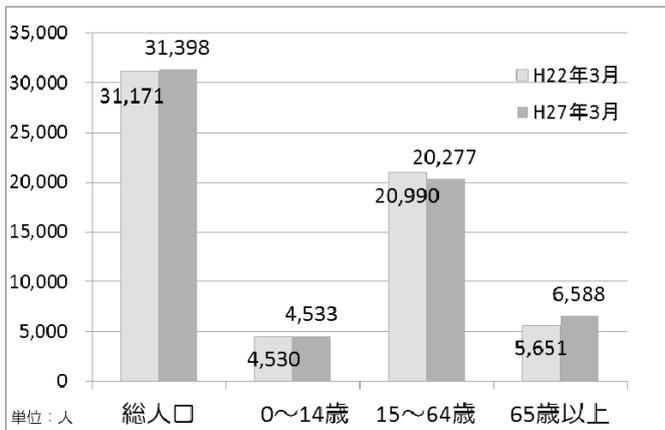
地区内には、馬場花木園や馬場の赤門など多くの見どころが点在しています。

地区総人口が区内で1番多く、3万人を超えています。



2. 寺尾第二地区の人口（年齢区分別）

	H22年3月 (年齢区分別比率)	H27年3月 (年齢区分別比率)	【参考】H27年3月 (鶴見区全体の年齢区分別比率)
総人口	31,171人 (100.0%)	31,398人 (100.0%)	(100.0%)
0～14歳	4,530人 (14.5%)	4,533人 (14.4%)	(13.3%)
15～64歳	20,990人 (67.4%)	20,277人 (64.6%)	(67.0%)
65歳以上	5,651人 (18.1%)	6,588人 (21.0%)	(19.7%)



- 5年前に比べると、総人口が227人増えています。
- 15～64歳人口は713人減っていますが、65歳以上の人口は937人増えており、高齢化が進んできています。

※地区別人口については、集計上の誤差があり、実態と一致しない場合があります。 出典「横浜市統計ポータルサイト」

3. 第2期計画

目標：ふんわりとしたつながりで、このまちに福を呼びこもう

てらお「福まち」協議会など、寺尾地区にお住いの皆さんと、区役所、区社会福祉協議会、寺尾地域ケアプラザ、寺尾地区センター・老人福祉センター鶴寿荘が協働して、住みよいまちを目指して取り組みます。

※ 第2期計画までは、寺尾地区と一緒に活動していました。

22年度～27年度



4. 第2期計画の主な取組内容（22年度～27年度）

①多世代交流 ②団体間交流 ③地域情報の集積・整理・発信 ④地域の担い手の発掘という4つの課題に対応するグループ活動を行ってきました。

てらお♡憩いの場



世代を超えて安心して交流できる「憩いの場」を、地域につくることを目指し、活動しています。6つの小学校（獅子ヶ谷・東台・旭・馬場・寺尾・上寺尾）の放課後キッズクラブやはまっこふれあいスクールに、“けん玉”や“ベーゴマ”の達人が参上！

子どもからご年配の方まで、世代間交流の輪がどんどんひろがっています。



てらお◇お手伝い部隊

「ありがとう。」の言葉と笑顔を励みに楽しみながら活動しています。デイサービスのお手伝い、小学生や子どものイベントの見守り、草むしり、踏み台・木工など、「できる時に、できることを、決して無理をしない」をモットーに、楽しくお手伝いをしています。活動のルールも作成し、活動内容も広がっています。



※このほかにも地域ではさまざまな人々の手によって幅広い活動が行われており、地域のつながりは着実にひろがっています。これからもたくさんの『福』を呼び込むために、地域の“大切にしたいこと”を形にしていきます。

地域を結ぶホットなニュースの輪

てらお♡地域情報局

☆地域新聞「ひびきあい」の発行☆
『わたしたちのまち てらおの新聞』をキャッチコピーに、さまざまな地域の情報を取材から印刷までをすべて手作りで発信しています。

「発見」てらおのお店や4コマ漫画「キラリン☆みっくん」も連載中！寺尾地区センターにて随時掲載しています。ホームページの内容もますます充実！「てらお地域情報局」で検索



てらお☆パワース

地域で活動する団体のみなさんの活動を知ってもらおうと23年度に作成した「団体紹介シート」「活動団体一覧」を活用して地域のイベントなどで広く掲示しました。また、地域の活動団体同士の交流、情報交換を目的に「ワンコイン交流会」「秋のてらお雑談会」などを開催しました。

5. 第3期計画策定に向けて

①アンケート調査（H26.11・H27.1）～地域のニーズ調査やりました～

めがね橋まつり来場者や地域で活動している方へのアンケートで、地域のニーズ調査を行いました。

「どんな街だったら良い街か」という質問では「つながりや地域の絆がある街」、「やわらかな見守りがある街」や「安心した暮らしができる街」という項目に多くの票が集まりました。

②第1回地区懇談会（H27.3.18）～～第2期計画の振り返り～

町内会、民生委員、保健活動推進員、地域で活動する団体の代表など、幅広い参加がありました。第2期計画の振り返り、地域の様々な活動の報告、寺尾・寺尾第二地区に関するアンケートの結果報告を行いました。グループワークでは「これまでの地区の活動やアンケート結果を振り返って、新たに取り組み・充実させていくこと」について話し合いました。参加者からは「ふんわりとしたつながりが実感できている」「担い手やボランティアが頑張っている」などの声が聞かれました。



③第2回地区懇談会（H27.7.27）

～初めてのワールドカフェで活発な意見交換～

新たに寺尾中学校、馬場小学校も参加して、第1回地区懇談会で出た意見をもとに、「私達が大切にしたいこと」「それを実現するためにできそうなこと」についてワールドカフェ方式のグループワークを行いました。大きな模造紙をみんなで取り囲み、地域の目標や具体策を描き、活発な意見交換を行いました。具体策では、「せらぎを活用した親子の遊び教室」「中学生と高齢者の防災訓練」「ママ世代の盆踊り」など、ワクワクする提案がいくつも出されました。

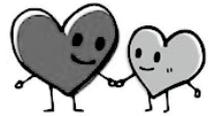
④地区懇談会後のワーキング（H27.9.11）～寺尾第二地区の未来に向けて～

7月の地区懇談会の各グループからご参加いただき、地区懇談会で出た意見をもとに、これから5年間の寺尾第二地区のキャッチフレーズ、目標、具体策について話し合いました。地区懇談会では世代間交流や地域のつながり、挨拶に関する意見が多かったため、キャッチフレーズは「世代を超えて、未来へつなごう、地域の輪」に決まりました。



6. 第3期計画策定（28年度～32年度）

世代を超えて未来につなごう 地域の輪



目標1 ▶ 老いも若きも、思いやりの心を育てよう

■現状の良いところ・課題

- ・近所の助け合いや普段からの声掛けがよくできている地域
- ・ボランティアを中心に、地域の活動を頑張っている。
- ・民生委員の見守り対象になっていない人が、地域とつながりを持てる仕組みが必要
- ・行事に参加できない人への声掛けが必要

■5年間の具体的な取組

- ◎自分から積極的にあいさつをする。
- ◎向こう三軒両隣、ご近所のつながりを広める。



目標2 ▶ それぞれが楽しみながら連携し、地域力を高めよう

■現状の良いところ・課題

- ・行事、お祭りが多くて交流が多い。
- ・緑や公園が多く、人の集える環境に恵まれている。
- ・世代間交流の活動を、学校と一緒に取組んでいる。
- ・地域活動への若い人の更なる参加が望まれる。
- ・子ども達がのびのび遊べる場所がもっとあると良い。

■5年間の具体的な取組

- ◎若い世代と一緒に、防災訓練等を活用し、災害意識を高める。
- ◎既存の活動を生かし、様々な世代の方と交流を深める。
- ◎地域の自然や歴史を活用した企画をつくる。

